** 2023年11月（第４版）
＊ 2020年11月（第３版）

承認番号：20500BZZ00089A01号

歯科材料03　義歯床材料
管理医療機器　義歯床用短期弾性裏装材　34769000

ティッシュコンピンク

【禁忌・禁止】
メタクリレート系ポリマー、メタクリレート系モノマー又は有機溶媒に対して発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】
形状：粉材と液材からなる。
成分・分量

構成品	性状	成分
粉材	粉末	ﾎﾟﾘｴﾁﾙﾒﾀｸﾘﾚｰﾄ、着色剤、その他
液材	液体	BPBG、ｴﾁﾙｱﾙｺｰﾙ、その他

付属品：粉計量ｶｯﾌﾟ、ﾗﾊﾞｰｶｯﾌﾟ、ｽﾎﾟｲﾄ、ｽﾊﾟﾁｭﾗ、ﾄﾝｶﾞﾘｷｬｯﾌﾟ

** 化学的性質 アクリル系
種類　タイプＢ(特に軟らかい)クラス１（中フロー）
(JIS T 6519)

【使用目的又は効果】
義歯床の吸着安定、及び粘膜調整に用いる。

【使用方法等】
① 義歯床粘膜面を一層削除して新生面を出し水洗・乾燥します。
② 粉及び液を計量します。下顎総義歯の場合、粉計量カップ目盛３（2.8 g)の粉に対し、スポイト目盛２（2 mL)の液を加え、スパチュラで空気をまきこまないよう約30秒間撹拌します。上顎の場合は、それぞれ倍の量を採ります。
混和後１～2分で水あめ状になります。
③ 水あめ状になった本材を義歯床の粘膜面に流し、スパチュラ等でできるだけ均等厚にして、口腔内に挿入します。
④ 筋圧形成を行い、約5分後に口腔内より取り出します。
⑤ はみ出した余分の本材をナイフ、または、熱したローベラ等を用いて除去します。
** ⑥ 本材を適用した義歯の洗浄に、市販の義歯洗浄剤を使うと面荒れが起こることがあるため、極細毛歯ブラシを用いて流水ですすぎながら義歯表面を軽くなぞるように清掃することを推奨します。

［使用方法に関連する使用上の注意］
① 混和物の過剰の盛り付けは、咽頭部への流れ込みの原因となるので避けること。
② 本材は、採取後速やかに使用し、液の容器はすぐに密栓すること。

【使用上の注意】
1）重要な基本的注意
① 本材の使用により、発疹、湿疹、発赤、腫瘍、腫脹、かゆみ、かぶれ、しびれ等の過敏症状が現れた患者又は術者においては、直ちに使用を中止し、専門医の診断を受けさせるか、又は受けること。
② 採得した機能印象は、血液、唾液などを十分洗浄後、必要に応じて消毒を行うこと。
③ 液又は混和物を皮膚に付着させたり、目に入れたりしないよう注意すること。万一目に入った場合には、すぐに多量の流水で洗浄し、眼科医の診断を受けること。
＊④ 万一、本材が気道又は食道へ流れ込んだ場合には、直ちに専門医の診断・処置を受けさせること。
本材にはＸ線造影性がないので、気道に入ると除去が大変困難になります。
⑤ 本材が手指又は器具に付着した場合には、直ちにアルコールで拭き取ること。

2）不具合・有害事象
本材の使用に伴い、発赤、びらん、水疱、浮腫などの過敏症状が発生することがあります。

3）高齢者への適用
反射機能の低下している患者（高齢者など）の場合には、鼻呼吸を命じて気道が閉じていることを確認して使用すること。

4）その他の注意
① 感染防止のため、計量カップ、スパチュラは清浄なものを使用し、また、使用後はアルコールで消毒すること。
** ② 採取した機能印象は、血液、唾液などを十分に洗浄後、必要に応じて消毒を行うこと。
③ 本材を使用する際には、適切な換気（1時間当たり数回の換気）がなされている場所で使用すること。
④ 本材の義歯床からの撤去作業の際は、保護めがね、手袋などを使用し、切削物の飛散又は付着に注意すること。
⑤ 液は可燃性のため、火気近くでの使用や火気近くでの保管は避けること。漏洩した場合はすぐに乾いた布でふき取ること。

【保管方法及び有効間等】
［保管方法］
・本材は、火気、高温、多湿又は直射日光を避けて「0～23℃」で保管すること。
・同一保管場所に大量に保管しないこと。また、使用及び保管場所には、消火器を備えること。
・粉および液はいずれも必ず蓋をよく締めて保管すること。
［有効期間］
本材は包装に記載の※使用期限までに使用すること。
［記載の使用期限は自己認証（当社データ）による。］
※（例 Exp.'□□,○○.は使用期限２０□□年○○月を示す。）

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】
製造販売元　亀水化学工業株式会社
製造元　亀水化学工業株式会社
発売元　株式会社ヨシダ
** お問い合わせ窓口　コンタクトセンター　TEL 0800-170-5541

取扱説明書等を必ずご参照ください。